

80GHz帯の周波数の電波を使用する 陸上移動局の動向

2022年2月16日 日本電気株式会社

80GHz帯の陸上移動局の審査基準

80GHz帯の周波数の電波を使用する陸上移動局の審査基準を示す。

項目	基準
通信方式	単向通信方式又は複信方式
周波数	図1 参照
空中線電力	1W 以下
送信空中線の絶対利得	55dBi 以下
移動範囲	当該業務を遂行するために必要な範囲内であること。
混信防止	(ア) 同一システムとの運用調整 (イ) 76.5GHz帯及び79.5GHz帯の周波数の電波を使用するミリ波レーダー用特定小電力無線システムとの共用 (ウ) 電波天文業務の用に供する受信設備との運用調整

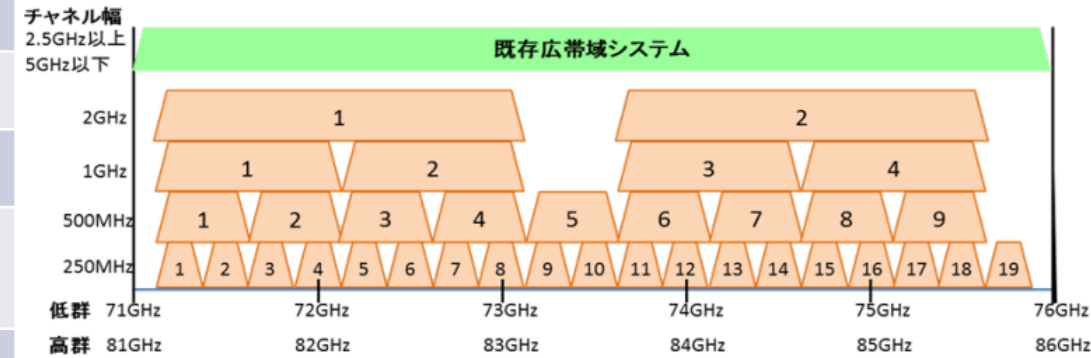


図1:チャンネル配置

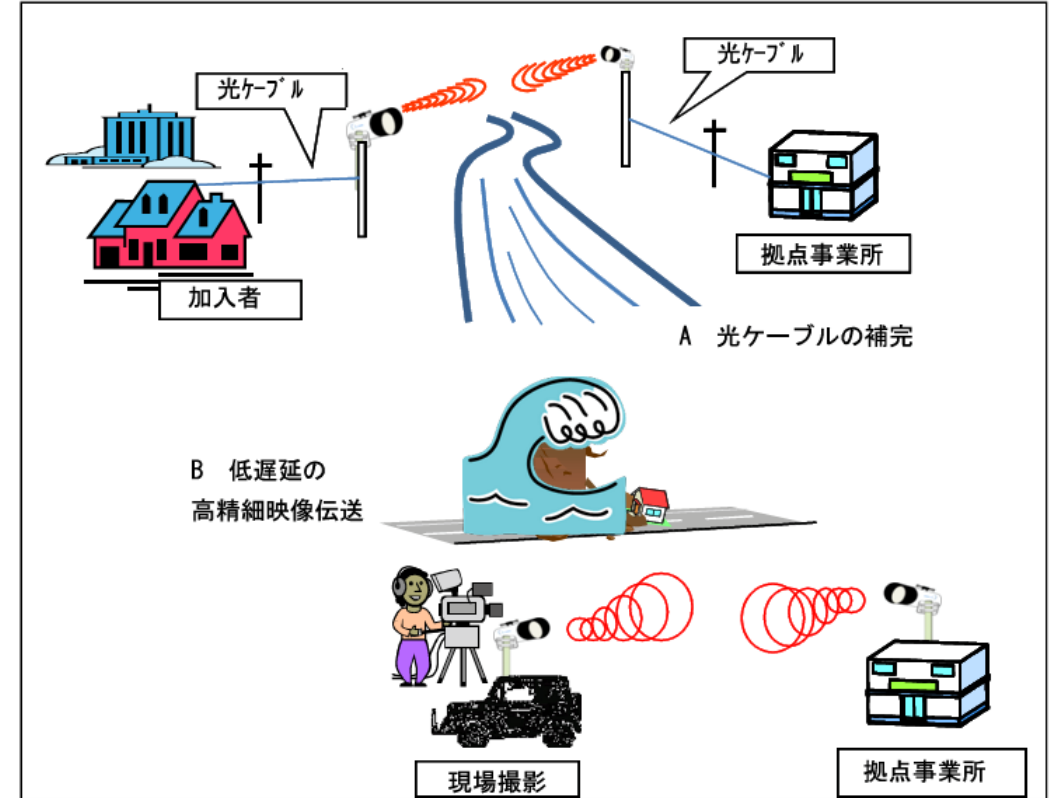
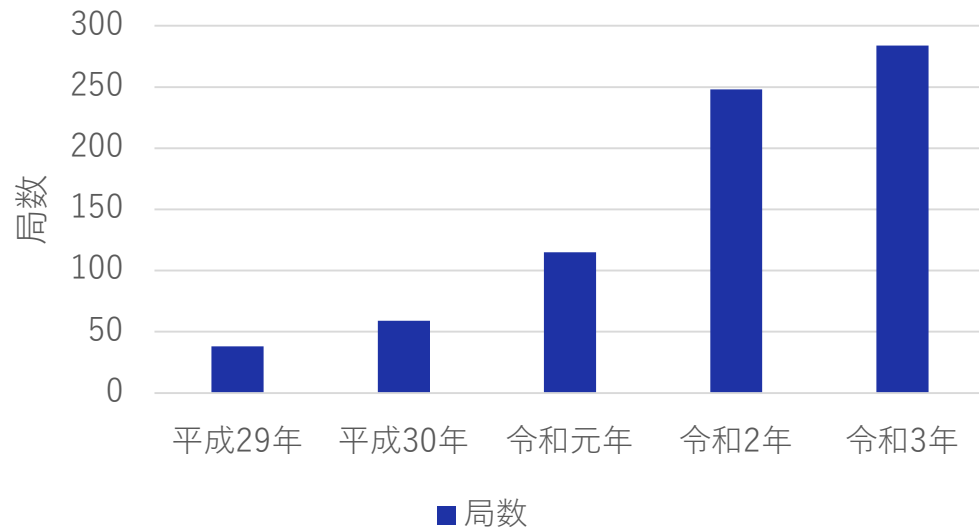
“陸上無線通信委員会報告「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち、「80GHz帯高速無線伝送システムのうち狭帯域システムの技術的条件」“より

80GHz帯の陸上移動局運用状況

2022年1月現在、免許数は約800局で、免許の発行件数は、年々増加している。

無線局の目的	局数
電気通信業務用	699
公共業務用	36
一般業務用	61

年毎の新規免許数

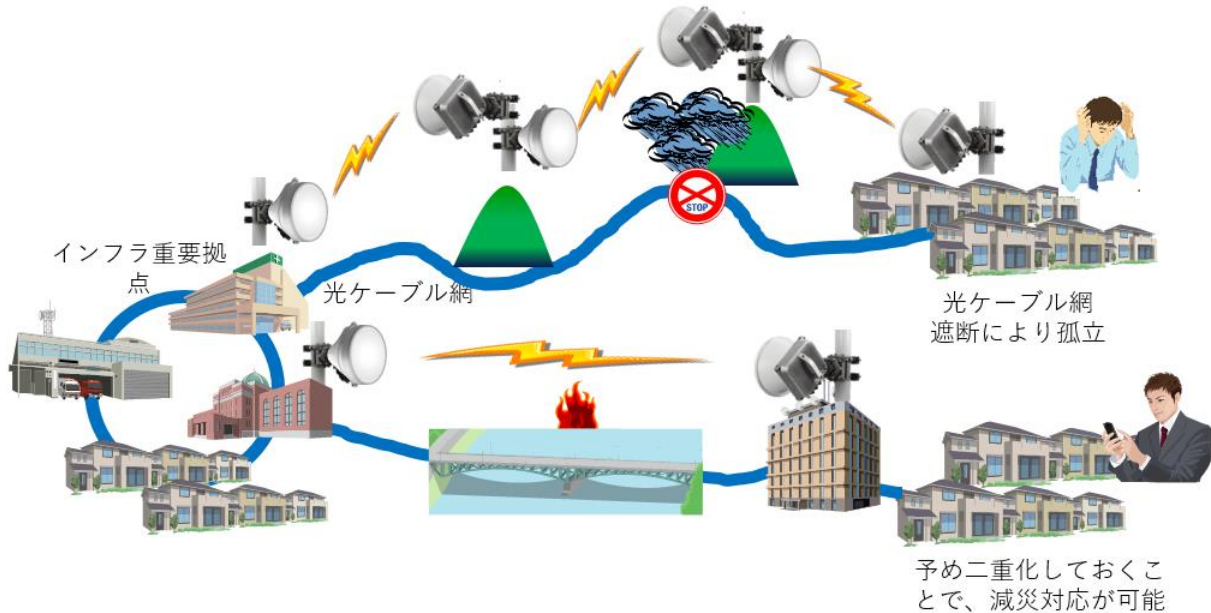


“陸上無線通信委員会報告「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち、「80GHz帯高速無線伝送システムのうち狭帯域システムの技術的条件」“より

80GHz帯の陸上移動局 適用例 1

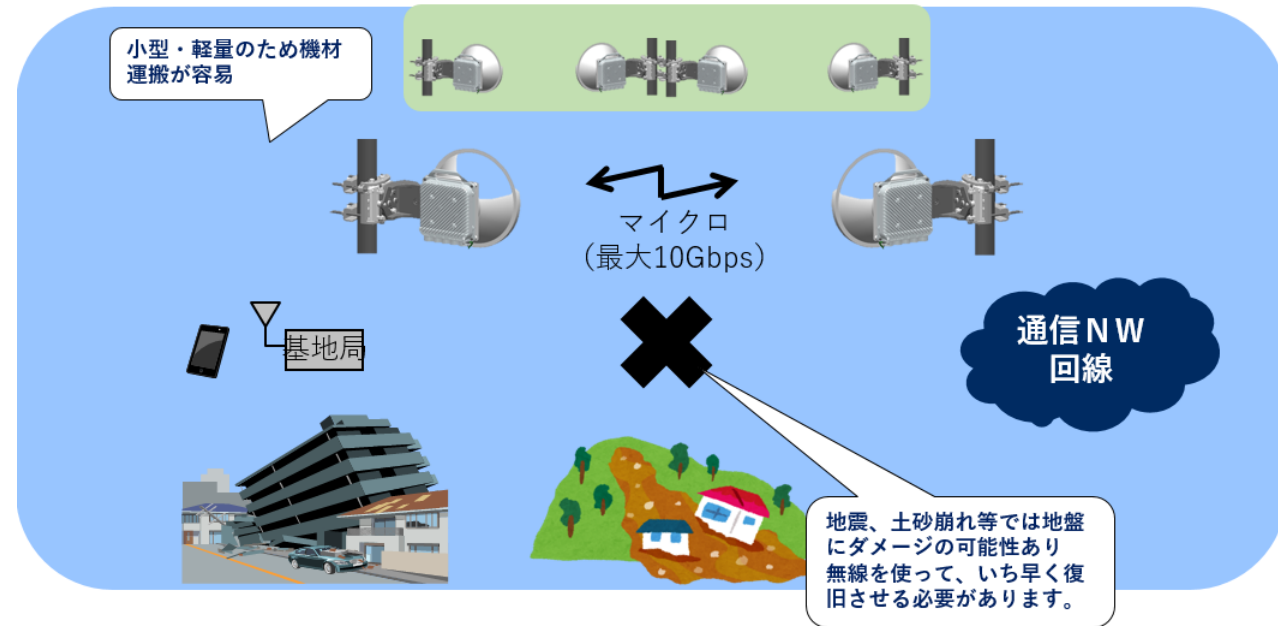
減災ソリューション

- 災害時に備えて、予め80GHz帯の陸上移動局で迂回路を構築することにより、災害が発生してもすぐにネットワークを復旧することができます。
- 予め二重化しておくことで、減災対応が可能



災害時

- 災害が発生しETH回線(光ファイバ)が切れた際、80GHz帯の陸上無線局でいち早く回線を復旧できます。
- 設置と撤去が簡単な為、光ファイバ復旧までの一時的通信手段としてご活用ください。



80GHz帯の陸上移動局 適用例 2

導入事例

■ 富士山でのPre-5Gサービス、イベント会場での回線増強用途など多数実績

NTTドコモ (NTT DOCOMO)
7月24日

ドコモは、富士山登山者の方があんしん・安全、快適にケータイが使えるように、山開き期間中通信サービスを提供しています。日本最速の受信時最大988Mbpsサービスを、富士山山頂で提供中です。山小屋では、docomo Wi-Fiによる公衆無線LANサービスが使えますので、休憩や食事、宿泊される際にぜひご利用ください。富士山での通信のエリア対策をはじめ、今後も全国での通信品質・向上を進め、より快適で利便性の高い通信サービスの提供に取り組みます。

▼詳しくはこちら
<http://docomo.eng.mg/b3cfa>



NEC Pasolink
10月10日 23:46

Rugby World Cup Japan 2019 やった！勝った！ あなたの感動を伝えるために

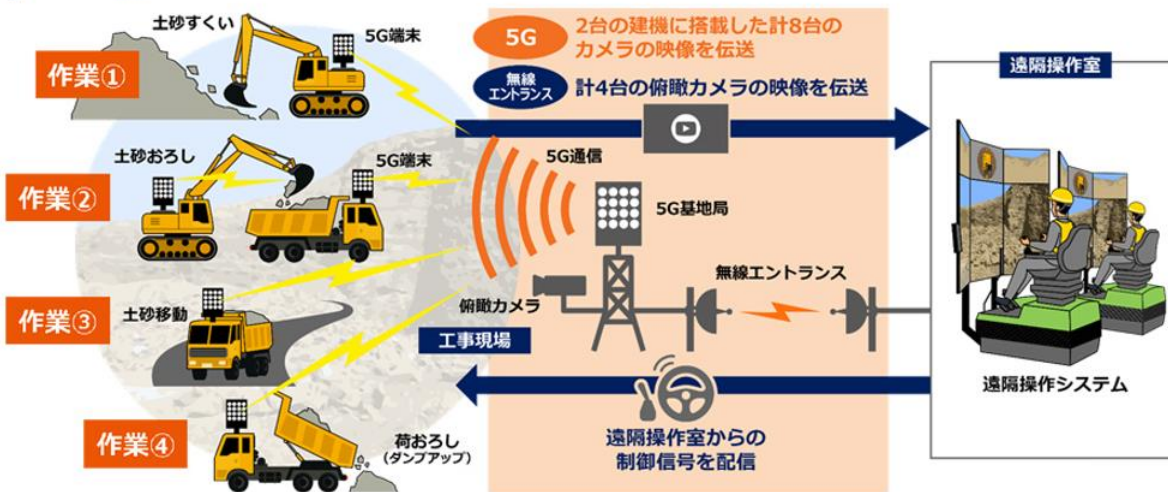
2019年9月28日、静岡県的小笠山総合運動公園エコパスタジアム。世界ランキング9位の日本代表が、優勝候補のひとつである世界ランキング2位の強敵アイルランド代表に勝利！その歴史的快挙は、エコパスタジアムで応援したサポーターたち一人ひとりの心に、忘れられない感動の場面に刻み込みました。感動した！伝えたい！その思いに応えるためにNECのiPASOLINK EX Advancedもお役に立っています。

写真：エコパスタジアム敷地内で、NTTドコモ様の移動基地局に設置されるiPASOLINK EX Advanced



導入事例

■ KDDI、大林組、NEC「5G」を活用し、建機の遠隔操作による連携作業に成功



また、災害時に光回線を使用できない場合を想定し、5G基地局と遠隔操作室の間(約750m)を無線エントランス(注1)で接続し、5Gのバックホール通信としての活用に加え、4台の俯瞰カメラの映像を伝送しました。

https://jpn.nec.com/press/201812/20181214_02.html